

令和7年(2025年)3月4日

北海道選挙管理委員会委員長

大崎 誠子 様

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

会 長 佐 藤 春 光

一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会

会 長 長 江 睦 子

障がい者の投票に関する合理的配慮を求める要望書

日頃より、障がい者福祉について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会では、これまで、障がいがあっても政治参加できるよう、投票支援を目的に、選挙支援カードを作成・活用したり、知的障がい者にも分かりやすい選挙広報を作成するなど、市町村選挙管理委員会のご協力のもとに取り組みを行ってきました。

どんなに重い障がいがある人にも投票に参加する権利があります。全道の市町村において、障がいがある人が投票所に足を運び、自分で候補者を選択して投票できるよう、当会といたしましては下記の取り組みを進めていきたいと考えています。

- ・投票支援カードを会員等へ配布し、投票所で活用する
- ・候補者を選ぶ際の参考にするため、立候補者に対して障がい者福祉に関するアンケートを行い、会員等へ発信する

さて、本年は7月に参議院選挙が実施されることとなっています。つきましては、当会の取り組みについて、道選挙管理委員会を通して各市町村選挙管理委員会へご周知いただき、障がい者の投票支援において合理的な配慮がなされるよう、下記のことを要望いたします。

記

1. 障がいの状態により、様々な形での投票の方法があります。市町村選挙管理委員会に対して、配慮された投票所を設営してくださるよう働きかけて下さい。
2. 選挙実施時において、各候補者に対し、わかりやすい表現で選挙公報を作成いただくようご周知ください。
3. 大切な一票を無駄にすることがないように、市町村選挙管理委員会に対して、各地域の障がい者団体と投票に関する合理的配慮のあり方について意見交換の場を持つよう働きかけて下さい。